

名古屋大学<<未来社会創造機構・教員（准教授）>>公募要領

1	募集件名	准教授の公募	
2	所属	名古屋大学未来社会創造機構 脱炭素社会創造センター（2022年4月設立予定）	
3	募集内容	[職務内容（業務内容、担当科目等）] <ul style="list-style-type: none"> ■ 脱炭素社会創造に関する研究と産学官連携。 ■ 化学システム工学とマテリアル工学に関する大学院と学部の講義・研究指導。 	
		[勤務地] 愛知県名古屋市千種区不老町	
		[募集人員] 准教授・1名	
		[着任時期] 2022年4月1日以降のできるだけ早い時期	
4	募集研究分野	大分類	工学
		小分類	化学工学
5	勤務形態	常勤 任期なし	
6	応募資格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] 博士の学位を有し、上記募集研究分野における研究や教育において優れた実績を持ち、炭素循環型社会形成を志向した実用基盤研究や産学連携の実績、もしくは、意欲のある方。二酸化炭素の分離回収や利用を含むプロセスの設計実績、二酸化炭素吸収材料の開発実績、産学連携の起点となる脱炭素技術に関する知的財産を有する方が望ましい。	
7	待遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）] <ul style="list-style-type: none"> ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 <p>https://education.jourekun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm</p> <p>給与は、東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程による年俸制</p> <p>https://education.jourekun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm</p>	
8	応募期間	2021年11月11日～2021年12月24日（必着）	
9	応募・選考結果通知連絡先	[応募方法（提出書類の送付先）] <ol style="list-style-type: none"> 1) 履歴書（形式自由、写真添付、e-mail アドレスを含む連絡先） 2) 業績リスト：(①査読付論文、②国際会議論文、③総説・解説、④特許、⑤その他に分けて記載。論文等では、共著者はすべて掲載順に記入し、自身の名前に下線を付けること、下記3)の主要な論文（5編）はマークを付ける) 3) 主要論文：5編（別刷り又はコピー） 4) 研究開発に関するこれまでの実績（1000文字程度、その内容を示す概要図1枚） 5) 着任後の研究と教育に関する抱負：(図などを含めてA4版2枚程度) 6) その他の特記事項：競争的資金、民間との共同研究等研究費の取得状況、受賞歴、特許出願、取得等)。 7) 本人について所見を求めることができる方2名の氏名と連絡先（電話番号、e-mailアドレスを含む） <p>1)～7)の印刷物一式と全てのPDFファイルをUSBメモリ、もしくはCDに格納したものを応募期間内（必着）に以下へ郵送。</p>	

		<p>書類提出先：</p> <p>〒464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学未来社会創造機構 機構長 佐宗 章弘</p> <p>なお、応募書類は簡易書留とし、「未来社会創造機構（脱炭素）准教授応募書類在中」と朱書のこと。</p> <p>問合せ先：</p> <p>名古屋大学未来社会創造機構マテリアルイノベーション研究所 所長 則永 行庸 e-mail : norinaga@nagoya-u.jp</p> <hr/> <p>[選考内容（選考方法、採否の決定）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類選考の上、面接を実施。 ・面接実施者については、e-mail で連絡を行う。
10	そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ① 本准教授は就任後、脱炭素社会創造センターの教授（専門は化学工学で、炭素循環システムや工業反応器設計に関する研究）と協力して研究、教育にあたっていただきます。 ② 名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ③ 提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ④ 応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ⑤ 面接に要する交通費は支給しません。